

## 《課題名》

腸腰筋面積と心臓血管外科手術術後の関係性について

## 《研究対象者》

2002年1月1日より2022年3月31日までに滋賀医科大学附属病院心臓血管外科において「大動脈疾患」「弁膜症疾患」「冠動脈疾患」と診断され、手術を受けた方

## 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

### （1）研究の概要について

研究課題名：腸腰筋面積と心臓血管外科手術術後の関係性について

研究期間： 滋賀医科大学学長承認日（2018年1月5日）から2023年3月31日

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 心臓血管外科 近藤 康生

### （2）研究の意義、目的について

#### 《研究の意義、目的》

高齢化のすすむ日本において高齢者の心臓血管外科手術は増加しています。高齢の患者様の手術においては、体力など考慮し、至適時期や手術の方法、手術の必要性などを判断しています。高齢の患者様の手術を乗り越えられる体力などに関して従来は外科医からの『見た目』に依存しており、客観性に欠く面がありました。その中で、手術を乗り越えられる体力に関してCTによって計測された体幹の筋肉（腸腰筋）の面積とよく相関するという報告があります。我々心臓血管外科では手術前にCTを撮影しています。このCTのデータを利用し、手術前の腸腰筋面積という客観的な値が手術後の体力の回復とその予後と関係性があるかを調べます。

### （3）研究の方法について

#### 《研究の方法》

当院における電子カルテ情報（採血や生理学的検査、放射線画像、手術情報、来院情報等）を利用し、統計学的処理を行う。

### （4）個人情報の取扱いについて

#### 《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

#### **(5) 研究成果の公表について**

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

#### **(6) 研究計画書等の入手又は閲覧**

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

#### **(7) 利用又は提供の停止**

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用（又は他の研究への提供を）停止することができます。研究データが固定された後に同意撤回がされた場合には、当該研究対象者の研究データの全部あるいは一部の使用をすることとします。停止を求められる場合には、随時下記（8）にご連絡ください。

#### **(8) 問い合わせ等の連絡先**

滋賀医科大学 心臓血管外科 近藤 康生

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2244

メールアドレス： [ky2013@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:ky2013@belle.shiga-med.ac.jp)